

琉球大学学術リポジトリ

ゴキブリを退治しましょう

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 翁長, 君代 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19805

間は種類や温度によつて異なるがヒトノミでは九一〇二百が記録されている。蛹期間ヒトノミで七一三九日。幼虫、成虫ともに熱に対して陽性であり、寄主が死亡して体温が下ると旧寄主を去つて新寄主に移行する。

四、ノミの曲げい

前にも述べたようにノミは虫類の仲間で彼独特の長所をもつている。この長所をどうもこれを利用して、ノミ芝居をする人もいる。訓練よろしきを得ば使いものになるといつ。日本本土や沖縄ではこのような曲げいは見られないが、支那ではちゃんと見せ物小屋を準備し、ノミの芝居を開演している。首に極く細い輪をはめられたノミが玉をころがしたり、相撲をしたりする。とにかく興味があり、且つ感心をせられるものである。

五、防除法

ノミが芝居に利用され決して不用のものではないといえ、人畜の血を吸う他ベストその他の伝染病を媒介し、又皮膚病を引きこせる危険な存在である。

ノミを捕える時に余り大声を出すと失敗する。声が大きいとノミはちゃんと人間の攻撃を知る事が出来る。ノミのたわごとで述べたように尻部にある感覚板が鋭敏に働く。

大掃除をしただけにノミが急に多くなつたという家庭もあるが、これはタタミの縁や床板をこすつて、そこに附着していたノミのマユを刺戟した事によるものである。つまり確実にノミのマユを掃き捨てないで、いい加減に掃除した証拠になるというものが、即ちマユの中で変態したノミは休眠するといわれており、これがある刺戟を受けてマユを破つて出てくるものでこれに活動性を与えたことになる。そこで掃除は徹底的に掃き出し、更に掃除の刺戟によつて浮かれ出したノミは粟を撒布して全滅させる必要がある。

子供の多い家庭は早くノミがわくとわかれていて、子供達によつて隣近所から持ちこられることもないではないが、大抵は自家生産のものである。即ち休眠していたノミが子供達の騒ぎに伴い、床やタタミの動きが刺戟となつて出てくるのではあ

るまいか。

ノミの一般的防除法として屋内を清潔にすることが必要であるが、特に敷物の下、タタミの隙間等はゴキがたまり易くノミの最もよい発育場所となる。不完全な倉庫や物置はネズミ並びにそれに寄生するノミの好い生活場所となる。平床でノミの多く発生するところでは寝台を利用することによつて防除し得る。前にも述べたようにノミは跳躍が上手であるから、その跳躍高よりも高い寝台を必要し、少くとも二〇〇糎以上とする。薬剤による防除法としてはBHC、DDT等が市販されており、その使用方法については当該薬品に説明書がついているので省略する。

(高良鉄夫)

ゴキブリを

退治しましょう

ゴキブリは方言でトビヒラーと呼ばれる一匹のゴキブリは数万の子ブス菌やその他、人類に害になる菌を持つていていわれています。

便所からノソノと上つてくることを考えるだけでもぞつといたします。そして台所の食器戸棚の中を横行したり、ふたをしていない食物につく事を考えますと、食慾も無くなつてしまふような気がいたします。又障子を張り替えて、その夜の間に糊付けの棧の部分を全部ゴキブリに喰われたり、大切な本の背表紙を台無しされたりすることを考えますと、一日も早く退治しないでは居れない焦燥を感じます。

退治の仕方は至極簡単ですからゴキブリの居るお家庭では早速、次の要領で実行して下さい。

材料としては

硼酸(ほうさん)	大匙	五杯
メリケン粉	同	量
湯	少	量

作り方は湯の中に硼酸を入れてよく混ぜ、その中にメリケン粉を入れて、よくよくねつて団子を作り、これをゴキブリの出入の繁しいところどころかしておきます。ゴキブリはメリケン粉が大好きですから、よく食べます。これを食べたゴキブリは酒に酔つたようにフラリになつて出て来ます。

この硼酸の団子を一週間おきに三回くり返して行きますと殆んど退治出来ますが、卵から孵化して出る頃に又くり返します。二度目か三度目の団子の中に、ゴキブリをつぶして混せることもつとよいと言います。これは下等動物は共喰いをする習性をもっているからたまたまです。

尚、硼酸はこの薬店でも死つています。値段は一封(五〇〇G)で四十日程度ですから、一袋買つて近所の方々とお分けになればあまり費用もかかりませんから、是非試みて下さい。

(翁長君代)



発行所 琉球大学農家政学部
発行人 島袋俊一
印刷所 沖繩タイムス社